

事務事業評価シート

令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		39600	文化財保護事務費	予算科目	会計	款	項	目	担当班	文化振興班
②		(2)	(文化財看板の整備を除く)	一般	一般	10	4	1	☒	主な事業
施策体系	基本施策	13	芸術文化の振興・伝統文化の保存	根拠法令	文化財保護法、指定文化財修理復旧事業補助要綱、旭市補助金交付規則				☐	国土強靱化地域計画
	施策の展開	27	文化財の保護	戦略事業	132	文化財保存事業			☐	新市建設計画
	施策の展開			戦略事業	133	文化財保存・継承団体助成			☒	定住自立圏構想
									☐	主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで		・開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査、整理及び報告書作成 ・市所管の文化財の維持管理(くん蒸、建物賃貸等) ・指定文化財の修理、復旧、維持管理の助成(事業費が10万円以上について事業費の2分の1以内を助成〔上限30万円〕)。後継者育成のための助成(後継者に2～4万円を助成)。	
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
昭和25年制定の文化財保護法に準拠		埋蔵文化財事業者からの要望増により、平成24年度から文化庁通達事項(平成10年度)、近隣市の実施状況を考慮し、庁内協議により確認調査は公費で実施。整理作業場所の確保が困難。補助事業不況により所有者・管理者の維持負担が困難。保存措置の必要性があるものが目立つ。	指定文化財の所有者、開発事業者からは補助事業、埋蔵文化財調査とも公費を求める要望が多い。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)			単位:千円	単位	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(予算)
1.需用費及び役務費	544	文化財写真現像、調査報告書の印刷等		千円	111	1,384	1,060	544	21
2.委託料	119	害虫等防除、文化財調査等		千円	163	2,098	1,592	119	3,247
3.借上料	196	重機借上、建物賃貸借、施設借上		千円	514	194	194	196	198
4.負担金及び補助金	3,251	文化財保存事業補助金等		千円	289	3,046	2,921	3,251	3,871
5.その他(報酬・賞金等)	118	審議会委員報酬、作業員賞金等		千円	1,130	234	66	118	7,934
② 特定財源の内訳(1年度の決算)			単位:千円						
1.国庫支出金		埋蔵文化財緊急調査費		千円	2,207	6,956	5,833	4,228	15,271
2.都道府県支出金	63	埋蔵文化財助成事業費補助金、教育委員会権限委譲事務費交付金		千円	600	963	665		
3.地方債				千円	208	317	235	63	69
4.その他				千円					
				千円	1,399	5,676	4,933	4,165	15,202

前年度増減理由		主に委託料の減(おカマップ作成完了・文化財調査委託なし)の為
---------	--	--------------------------------

従事職員数	常時	2人	最大	人	×	日	=	延べ	人
-------	----	----	----	---	---	---	---	----	---

前年度増減理由	主に委託料の減(ガイトマップ作成完了・文化財調査委託なし)の為
---------	---------------------------------

従事職員数 常時 2 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

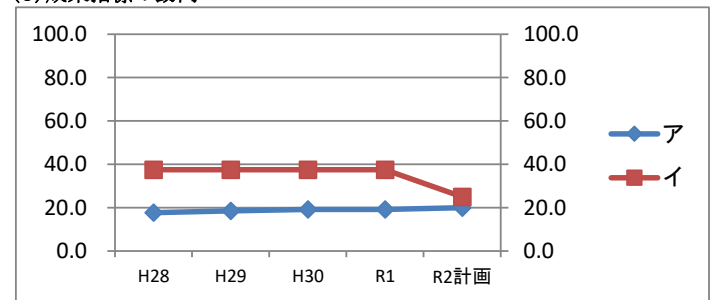
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
1年度実績(1年度に行った主な活動)							
・干場遺跡発掘調査報告書の発刊	ア 埋蔵文化財発掘の届出及び通知件数	件	48	54	47	50	50
・玉崎神社等修復に対する補助金支出							
・七宝焼写真(湊川惣助)の額縁修理	イ 発掘調査件数	件	2	0	0	0	0
・文化財保存事業補助金支出							
・工事等に伴う試掘調査等							
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
対象 指定文化財	ア 発表の場等で積極的に公開された市内文化財の割合(公開件数/130件)	%	17.7	18.5	19.2	19.2	20.0
意図 適正な保存及び活用により、指定文化財が公開及び伝承される。							
対象 埋蔵文化財	イ 埋蔵文化財保存施設のくん蒸割合(くん蒸施設箇所/保存施設箇所)	%	37.5	37.5	37.5	37.5	25.0
意図 適正に保護・保存及び継承される。							

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				②コスト削減優先度評価結果					
		成果向上余地			コスト比率				
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3		
施策貢献度	大きい				評価結果	①			
	普通		⑤			②			
	小さい					③			
						④⑤	(4)		
				⑥					
				⑦⑧					
				⑨					

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐完了☐順調☒概ね順調☐停滞☐実施困難									
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)										
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標 のタイプ	↗ 数値増＝成果向上 ☐向上☒横ばい☐低下	成果動向	比較	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標イ	↗ 数値増＝成果向上 ☐向上☒横ばい☐低下	28年度		29年度	30年度	1年度	2計画		
				ア		0.0	0.8	0.7	0.0	0.8	
				イ		0.0	0.0	0.0	0.0	△12.5	
③ 今年度取組事項 (2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	☐拡大☐縮小	☐現状維持☐廃止・休止☒見直し☐その他()					
	4月～12月	・ひかた市民センター収蔵庫に文化財を集約する		令和2年4月から	文書館、青年の家、飯間歴史民俗資料館、民間倉庫等に分散保管している民具、出土品、古文書等を、ひかた市民センターの書庫、収蔵庫に集約し、活用の方針を検討						